

令和7年度 今治市社協グループホームゆいの里 外部評価結果（公表用）

項 目	内 容
自 己 評 価 実 施 日	4～5月中
外 部 評 価 日	令和7年6月20日(金曜日) 13:30～
実 施 方 法	運営推進会議 「自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール」
外 部 評 価 者	<p>今治市民生児童委員協議会会長、民生児童委員、地域住民代表、今治市役所大三島支所担当者、大三島支部運営委員長、伯方地域包括支援センター大三島サブセンター担当者、今治市社協大三島支部支部長、グループホームゆいの家管理者等</p> <p style="text-align: right;">計13名</p>
開 示 状 況	<p>利用者及びその家族へ送付 今治市へ提出 今治市社協ホームページ・事業所内へ掲示</p>

令和7年度 グループホームゆいの里 (自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール)

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	理念は掲げているが、改めてスタッフで深める事ができていません。 みんな、笑顔を大切にされた支援を心掛けてはいますが、ミーティングで話し合いたいと思います。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	昨年度の目標達成計画のなかで、利用者さんの思いを知り、地域・自宅などとの繋がりを大切に支援の形を考えて実行できる様に事前に連絡をとっていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事にも積極的に参加されていると思います。 ・施設見学時に職員はもちろん利用者からも気持ちのいい挨拶をいただきました。とても雰囲気良かったです。 ・家、里ともに ほぼできている。 ・地域行事等によく出かけており、地域との連携がはかれています。参加し、繋がりができていると感じますが、事業所としても近所づきあいのなかにか繋がりがあってもよいのかなとも思います。次回までの課題だと感じます。 		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	・2ヶ月に1回開催される運営推進会議で状況報告、外部評価等も行い、意見交換を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方への報連相ができています。 ・夜間のセンサー等、会議での話し合いがケアに活かされていると思います。防火訓練など参加できないことが多く、申し訳なく思います。 		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	・2ヶ月に1回開催される運営推進会議や、認定調査の時に、近況や事業所の事を相談し、必要時には支所へ訪れ報告などしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じて連絡・相談しながらサービスの質の向上に取り組んでいると思います。 ・施設内でケアを受けている人のみでなく、認知症についての地域住民への発信ができ、憩いの場あるいは相談の場としても役割の持てる場であるとさらに良いと思います。それには、市や社会福祉協議会のさらなる連携が望まれます。 		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	施錠はせず、利用者さんの言動から外に出たいとの思いが伺われる時は、一緒に外に散歩をするなどして気分転換を図っています。時に、マンパワーのため掃き出し等施錠する事もあります。運営推進会議でも毎回身体拘束適正化委員会を開催し、報告・検討を行っています。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	研修や話し合いを重ねながら、身体拘束をしないケアにしっかり取り組まれていると感じました。安全との両立が難しい中でも、現場でよく努力されていると思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	・毎年最低1回は、虐待防止に関する研修を開催。外部の研修にも参加し、他スタッフに研修内容を伝えていきます。自分が行った介護や言葉掛けが虐待に当たらないかどうか、スタッフ同士で気を付け、気付いた時には注意し合うようにしています。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	日々の声かけや対応が適切か確認し合いながら、職員間で意識して取り組まれていると感じました。研修を通じて丁寧に対応されています。今後はチェック体制の充実や、地域の方も参

							加できる研修など、啓発の広がりにも期待したいと思います。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	・現在、成年後見制度を利用している利用者さんがおり、必要性や役割について、職員間で学ぶ機会を設けています。また、研修などへも積極的に参加し、内容をミーティング等でスタッフみんなに伝えています。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	・随時、契約書に沿って契約内容の説明を行っています。途中、分かりにくかったところや理解できない部分が無いかな確認しながら、不明点が無いかどうかを確認した後に、署名頂いています。また、説明、理解が十分に伝わっていないと思う時には、その時々で説明を行う様にしています。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	・毎年、利用者・家族に対しアンケート調査を実施しています。なかなか施設内の状況の説明が難しく、毎月お便りで確認頂きながら、時々電話で近況報告し、特に不安なところや聞きたい事は無いかな等、家族に確認しています。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	家族との連携がよく図られていると感じました。今後は運営推進会議時のような見学や家族交流の機会があると、アンケートでは出にくい思いや意見も共有できるのではないかと思います。実施には時間確保の難しさもありますが、今後の工夫に期待します。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input checked="" type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	・毎日の申し送り時また毎月のミーティング等で、収支や運営に関する情報を伝え、意見をスタッフから確認しながら、働きやすい職場を目指し、検討していますが、意見をすべて反映する事はむずかしこともあります。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input checked="" type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	・職場で直接給与や処遇などを改善する事は難しいと思いますが、意見を聞く姿勢、話し合う時間を持つようにしています。また、労働時間ややりがい、向上心等を持って、意欲的に働く事が出来るよう、職場環境や勤務時間等を希望に沿って調整する等、働きやすい職場の環境作りを行っています。		<input checked="" type="checkbox"/> A. 十分にできている <input type="checkbox"/> B. ほぼできている <input type="checkbox"/> C. あまりできていない <input type="checkbox"/> D. ほとんどできていない	職場の雰囲気や職員間の連携は良好で、日頃から働きやすい環境づくりがされていると感じました。職員の表情からも無理なく働いている様子がうかがえます。今後も個々の職員と話し合う機会を持ちながら、より良い職場環境づくりを続けていってほしいと思います。

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・本人の興味のある研修だけではなく、研修の内容から苦手な研修も参加を促しスタッフみんなに伝える事で、知り得た知識や技術を共有し、一人一人が、広く深い知識や技術を習得できるようにしています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部研修や動画研修など、さまざまな形で学習機会が設けられていると感じました。研修で得た学びを職員間で共有することで、より理解が深まり定着につながると思います。学んだ内容を日々の実践に活かしながら、着実に取り組まれていると感じました。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	少しずつ、交流を行ってきています。また、お互い散歩の時等に会話が弾む事が見られるようになってきました。色々な情報交換や対策・対応などを確認しながら、事業所間でも情報の共有は出来ています。3島5町の施設間での研修会に参加し他施設の取組を聞く事でサービスの向上につなげていくようにしています。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・掃除や調理等、家事を一緒にこなしたり、日常会話の中で、一緒に笑ったり相談しながら外出や行事等の計画を立て、共に生活しています。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・面会は15分以内で換気などに気を付け、面会に来て頂いた方とお茶など一緒に飲んで頂きながら笑顔で楽しい時間がもてるよう支援に努めています。	・日々のミーティング等で皆の意見が反映されており、チームでの介護計画とモニタリングがよくできていると思います。 ・ドライブ等の外出でも慣れ親しんだ場所を五感で感じてもらっていると思う。ご家族への状況報告等で適度な関係が保たれているようにも思います。 ・入所の際、ゲートボールに迎えに行くという話も出ましたが、地域も高齢化が進みそのままになっています。地域と連携して活動ができれば(手があれば)と思います。 ・短時間でも面会等できたら利用者は元気が出ると思う。		

II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・利用者さんと、話をする時間も作り、その中から生活に対する思いや希望を確認し、少しでも希望に沿った行事や食事、将来的な本人の望む生活等について、確認できる時間を作り、把握に努めています。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・ケアプランに基づいた、利用者さん一人一人の長期・短期目標を定め、目標達成に向けた具体的なケア内容を毎日実施・評価しながら、毎月の評価を元にミーティングでモニタリングしながら、ケア内容の見直しも行っていま	「その人らしい」暮らしは、ひとりひとりの背景を知らないで難しいのかもとも思います。楽しい表情、嬉しい表情を見逃さず何歳になっても、わくわくする気持ちを持っていただけるよう支援してほしいです。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	本人主体の計画づくりを意識して取り組まれていると感じました。個々のケアの負担が大きい中でも、ミーティングなどを通じて情報共有を行い、日々の実践

				すが、変わりがないのが安定していることととれるため目標の定め方が難しいのが現状です。			につなげようと努められていると感じました。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・毎日、提供したケア内容に対する記録・評価を行いながら、毎月のミーティングで総合的にケア内容に対する評価を行い、今後の具体的なケア内容の修正や調整を行うため、日々の利用者さんの言葉も記録にとどめながら、気持ち・体調の些細な変化に気付き計画の見直しに活かしています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日頃から情報共有や話し合いの時間を大切にしながら取り組まれていると感じました。個別記録を丁寧に確認し、日々の支援に活かそうとされている様子が伝わってきます。今後もヒヤリハットの減少につながる取り組みを続けるとともに、職員の皆様の健康にも十分配慮していただきたいと思います。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・家族とも電話やメール・LINE等で連絡を取り合い、家族さんの希望に沿う様に出来る限り取り組んでいます。また、お便りで現在の日々の様子を伝え、毎月ケア内容に対する評価や一ヶ月の様子等のコメントを、個別にお便りと一緒に配布しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・住み慣れたグループホームで最期を迎えたいというニーズの高まりにも対応し、医療機関と連携しながら「看取り」にも取り組んでいる。 ・お便りでの連絡等 非常に良いと思います。大変でしょうが続けてください。 ・お便りがたいへんありがたいという声を聴きました。情報発信は大切なことだと思います。お互いの理解が深まります。 ・利用者本人、家族、職員が一体となって支援、サービスが行えるのは素晴らしいと思う。 		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>神社への初詣や住み慣れた地域をドライブし会話につなげています。また、折り紙など地域から講師に来て頂き楽しむ事が出来ればと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事等によく出かけており、地域との連携がはかれている。 ・地域行事に参加できたら元気になるのは間違いない。継続してください。 ・神社やお寺とのつながり、秋祭への参加、地域の料理屋さん協力頂いて出張食事会や地域講師を招いて習い事の機会づくり、音楽コンサートなど様々な協働ができています。 ・地域行事への参加はもちろん、地域の中にいろいろな特技を持たれている方たちがいらっしやるので協力体制ができれば生活が豊かになると思います。学校では、以前地域の活用できる資源(人的なもの)を調べ一覧表にして年間計画の中に組み込んでいました。 		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・基本的に慣れ親しんだかかりつけ医に、継続して受診頂いています。家族での通院介助が難しい場合には、関係性を断たない様に、施設職員と一緒に通院介助し、医師とも連携を取っています。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・入院の必要性があれば、主治医を含め、入院先医療機関や本人を含め家族との連絡はもちろん、退院までのフォローも含め、関係機関と連携し、スムーズに退院でき、退院後も健康状態について相談しながら、安心して過ごして頂けるよう対応しています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	医療機関やご家族との連携・協働が適切に図られていると感じました。入退院時の情報共有や相談体制も整っており、安心して支援が継続できる体制づくりに取り組まれていると感じました。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・常に、本人と家族の希望を確認しながら、出来るだけ意向に沿えるよう、スタッフ全員で意見やケア内容を統一し、「思い」に寄り添いながら対応しています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	終末期や看取りの場面ではチームでの関わりが大切にされていると感じました。本人やご家族の思いを尊重し、意向に沿った支援に努められていることで安心につながっていると思います。看取り介護体制への取り組みも継続されており、今後も大切にしていってほしいと感じました。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・定期的に、緊急時の対応の仕方について、内・外部研修やミーティング時に、看護師が起こりうる急変に備えた対策について、随時職員間で話し合い、いざと言う時に迅速に、的確に対応できるようにしています。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・年に2回、消火避難訓練を実施。地震や豪雨等の自然災害のマニュアル化していますが、利用者さんの状態は変化するのでその時々スタッフ間で話し合いを持つようにしていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民と協力して避難訓練を実施されていることや、振り返りがなされており良いと思います。 ・色々な訓練をすることが大切。 ・消防訓練の他に災害訓練も必要です。避難訓練はくり返し行ってほしいです。 ・地域との合同の消火・避難訓練を年に1回実施しながら、顔の見える関係づくり、グループホームの理解促進をすすめながら協力体制を築いている。 ・地域の自主防災会との連携を密にし、いざという時に動けるようにしておくことは、お互いのためになると思います。自主防災会側にとっても動き方の指標になると思います。 	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	災害対策は着実に整備が進められていると感じました。訓練を通じて利用者の状態に応じた対応力がさらに高まることを期待しています。困難も多い中で継続して取り組まれている点を大切に、今後も継続して行ってほしいと感じました。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・他利用者さんの前では、人生の先輩である事を常に意識し、プライバシーや人格を尊重した対応を心掛けています。お互いの信頼関係の中での言葉掛けも、尊敬・尊重を優先したかわりを心掛けています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりを丁寧にアセスメントし、職員間で気づきを共有しながら支援につなげていることが大切にされていると感じました。個々の要望への対応が求められる中でも、日々の関わりを大切にしながら丁寧に実践されていると感じました。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・基本的に、利用者さんと一緒に、どうするか考え相談しながら、行事やイベント等検討しています。時には、どうしても業務の流れを考えながらの対応も、見られる事がありますが、その都度ご利用者さんには説明しています。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・誕生日や月の行事、日常会話の中から出た食べたいもの、季節の旬のものを取り入れる等、随時メニューを変更し、食材の下ごしらえや片付けも、出来る範囲で手伝って頂きながら、「食」を楽しんでいます。		○ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節や行事にちなんだメニューなど、「食べること」が楽しみになる工夫がされていると感じました。食べたいものを一緒に作り、できることを担う機会が自信にもつながっていると思います。家庭生活の延長として家事活動に取り組みされている点も大切にされていると感じました。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・一人ひとりの栄養バランスを考慮し、食事の摂取量・飲水量等を、必要があれば主治医とも相談しながら、調整しています。嗜好を考慮した、楽しみになる食生活が送れるように心掛けています。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・毎食後、口腔ケアの声掛けを行い、歯磨きをして頂いています。ご利用者さんによって、義歯の方は毎晩消毒し、必要があれば歯科検診も受けながら、口腔状態も確認しています。		○ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアは食事の楽しみや健康維持に大切な取り組みとして、継続してほしいとの声がありました。認知症との関連も踏まえ、利用者さんの状態に応じた支援が行われていると感じました。継続した取り組みを期待されています。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・出来るだけ、本人の意思を尊重し、紙パンツ、布パンツや尿パットの使用についても相談しています。排泄はスタッフの時間的声掛けで、本人さんの畜尿機能の低下にならないように気を付けています。排便コントロールも必要があれば排便状況を主治医へ伝え、相談しながら、緩下剤や食事等(食物繊維・乳酸菌飲料等)で調整しています。		○ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの状態や思いを大切にされた排泄支援が行われており、安心して任せられるとの声がありました。排泄は最期まで自分でとの思いを大切にしながら、きめ細かな対策で自立に向けた支援が実践されていると感じました。大変な中でも丁寧に取り組まれていることが伝わってきます。
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている ○ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・最低でも 2~3 日に1回は入浴頂けるよう予定しています。その日その時の気分によって、無理強いしない様、昨日入っていても、希望される場合は入って頂き、一人ひとりの希望に応じて、入浴して頂いていますが、高齢な利用者さんはお風呂で体力を			

				使う為体調を考えて入浴して頂いています。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心 して気持ちよく眠れるよう支援して いる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・出来るだけ、日中の活動量を増やす事で、昼夜逆転が予防でき、夜間ゆっくり休めるように働き掛けしています。日中もウトウトされている時は、時間を決め、少し休んで頂いています。また、夕食後から就寝までの時間を穏やかに過ごしていただく様に支援しています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・服用中の内服薬は、随時医師や薬剤師と連携し、必要性や副作用等の出現について確認し、指示通り服薬ができ、効果と副作用の確認が行える様、スタッフにも周知徹底をお願いしています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	職員同士の情報共有をさらに大切にし、誰もが症状の変化に気づけるような体制づくりへの期待がありました。服薬支援については、職員間の連携がしっかりとられ、日々丁寧に取り組まれていると感じました。今後も継続した取り組みを望まれています。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・家事等、一人ひとり出来る事をお願いし、終わった時にお礼の言葉を伝える事で、達成感や充実感を感じ、役割意識が持て、生活意欲の低下を予防でき、張りのある日常生活が送れるように心掛けています。	<ul style="list-style-type: none"> ・9人の新しい家族。もちろん一人ひとりの楽しみの大切だけど、ひとつ屋根の下で暮らす仲間の中での役割意識やみんなで一緒だからこそ楽しいと感じる時間や空間も大切にしてほしいです。(花火やそうめん流し、外で食べる芋炊きなどいいですね) ・自己有用感を持てることは家族と離れて入所されている方々にとっては大変大切なことだと思います。 ・施設見学の時に絵や書が飾ってありましたが、趣味を楽しむことが生きる力になると思う。 		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・ドライブに出掛けたり、天気の良い日には庭先でみんなで歌をうたったり、散歩しています。一人で散歩に出かけても、デイサービスや他事業所の方々にも協力を頂きながら誘導して頂き、自分の希望で、自由に散歩できるようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・外出する機会は多くあるように感じる。地域の方からのお誘いがあるって出かける機会もあることは、地域の一員になれていると感じる。(青のコンサート、敬老会、お大師さん etc) ・15の項でも書きましたが、地域と協力して活動の幅を広げられればと思います。 ・希望に沿った外出支援はスタッフ不足で大変そうですが、続けてほしい。 		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・金銭管理については、全面的に預かり金として職員が出納に関しては管理しています。ただ、欲しい物や消耗品など、購入する際には可能な限り本人に写真や内容を伝えながら、個人に選んで頂いています。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・利用者さんが希望する場合は自由に電話やテレビ電話も利用し会話して頂いています。手紙なども定期的に家族から届いたり、お礼の電話をしたりしています。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・常に決まった場所で過ごすのではなく、座りたい場所や、時には居室で過ごし、本人の居心地のいい場所で過ごして頂ける様にしています。季節の花を職員が持って来てくれ生け、壁面へ季節やイベントを感じる内容の作品と一緒に作る等、明るく楽しい、季節感が少しでも感じる事が出来る環境作りを心掛けています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	いろいろ工夫しながら環境づくりに取り組まれていると感じました。刺激を抑えた安全な空間づくりはとても大切だと思います。生活の場として安心して過ごせるよう、落ち着いた環境づくりが行われているように思いました。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	居室で過ごす時間が長い方、お昼寝はしないと一日ホールで過ごされる方、スタッフの声掛けにも気分が乗らない時には「したくない」とはっきり言われる方など、様々です。利用者さんの言動に気を付けながら、その日の気分、体調の変化を感じ取り声掛けや誘導をする様に心がけています。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同敷地内の方と、いつでも自由に交流したり、建物周囲を、自由に散歩しながら、職員や他利用者さんと交流できる様に心がけています。他棟のかたに知人がおられるかたは、時に話に行かれています。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・毎日バイタルチェック等の健康チェックを行い、日常の健康状態に比べ、異常が見られる場合、主治医へ報告し、指示を受け対応する事で、健康状態が安定・維持でき、安心して日常生活を送る事ができています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	服薬管理や個別支援が丁寧に行われ、医療機関やご家族とも連携しながら適切に対応されていると感じました。日々の健康チェックや情報共有を大切にされており、安心して生活できる体制づくりに取り組まれているように思います。今後も継続を期待します。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・起床から就寝に至る日中の時間帯、利用者さんのペースに合わせ、集団生活の中でも、可能な限り皆さんの生活習慣に合わせた幅広い時間帯を取っています。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・入居時、環境変化による不安を少しでも軽減する為、使い慣れた寝具や衣類、家具等も持参頂き、在宅生活の延長で、安心して生活頂けるように対応しています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	馴染みの物を身近に置ける環境づくりが、心の安定につながっていると感じました。すっきりながらもほっとできる居室で、安心して過ごせる「生活の場」になっていると思います。生活の場としての支援が関係機関からも信頼されている様子が見えます。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・希望を取りながら、庭先で日光浴したり、ドライブしたり、自由に敷地内の友人と交流したり、散歩して頂いています。今、車椅子の方が多くマンパワーが足りない事で、充分に参加できない事があります。	・出かけることが好きな方は、希望により催事に参加することができているよう感じる。 ・認知症サポーター講座を受講されている方との協力ができればと思います。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・職員と一緒に家事(洗濯干し・たたみ、ジャガイモや玉ねぎの皮むき、ごぼうのささがき等の調理、片付け、台拭きやお盆拭き)等、出来る事をして頂き、お礼を伝える事で、達成感や充実感を感じて頂けるような対応を心掛けています。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・毎日の日常会話の中にも、笑い声が絶えず、時に口論となったりする事もあるが、それぞれが共同生活の必要性を実感し、楽しく交流する事ができています。みんなで歌をうたった時のリード役、カルタの札の読み役等、それぞれの役割を自然に獲得しながら、楽しい時間が過ごせるようにしています。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりとの対話を大切にし、その人の持つ力を活かす関わりが続けられていると感じました。活動の様子は掲示物などからも楽しく交流されていることが伝わってきます。生活歴や得意なことを活かした役割づくりが自然に行われ、互いに支え合いながら生き生きと過ごされている様子が見えます。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・同敷地内で、馴染みの友人・知人との関係が保てるよう、自由に交流して頂いています。また、今後は地域の方をお迎えしての交流を感染対策も考えながら増やしていければとおもいます。	・生活歴を意識した日々の役割により、今まで出来ていたことを継続できているように感じる。地域のイベントや行事などを通じて、地域の方から声かけしてくれることもあり、ちょっとした交流機会となっている。 ・日常生活や外出を含め、全体的によくされていると思います。 ・コロナ流行などもあり地域の方々との交流はまだ難しいものがあるかなとは思いますが、できる範囲で工夫されていると思います。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・職員との信頼関係はもちろん、利用者さん同士も慣れ、交流に至っても、自分のペースでゆっくり過ごせていると思います。特にドライブ等、外に出かけ、帰棟時に「あ～もう帰ったね」「家に着い	・利用者の表情もよく、よい環境で安心して生活されている様子が伺えました。 ・住み慣れた地域で、こころ豊かに生活を送れている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域の中で暮らし続ける「生活の場」として、ゆいの家がしっかり根づいていると感じました。利用者さんの穏やかな表情や自然な笑顔から、安心して過

			<p>たね」と自宅の様な感じを受けている様子が伺えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と信頼関係が築けている中での共同生活で、実家のように安心して生活しているさまが伺え素晴らしいと思う。 ・喜怒哀楽のすべてを出せる自分の居場所になっているように思う。 ・居心地よく自分のペースで生活できるのは大切なことだと思います。独居に不安を持ちながらも入所は自由がなくなるという声を聴きます。グループホームのPRもあってもよいのではと思います。 		<p>ごされている様子が伝わってきます。地域行事への参加や日々のあいさつなど、地域とのつながりも大切にされており、地域の一員として共に暮らしているような温かさがあります。ここが「その人らしく生きられる場所」として大切に守られていると感じました。</p>
--	--	--	----------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(参考様式4)

事業所名 今治市社協グループホームゆいの里

目標達成計画

作成日: 令和 8年 2月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	47	馴染みの方、環境生活など入居者9人の方を深く知ることが難しい一年でした。今回は、共同生活の日々に目を向るなかで、ぶつかり合うこともあり、笑顔が消えていく方もおられます。日々の生活の中皆さんが気持ち良く、笑顔で過ごすことができるよう支援していきます。	認知症の症状も様々で、あうかた、あわない方がおられますが、職員がクッションとなり日々笑顔で過ごすことができる。	・テーブルの向き、配置 ・職員の立ち位置 ・創作・ゲームの方法、割り振り ・職員の声掛け ・マンツーマンでの会話	12ヶ月
2	25	昨年の火災避難訓練の出火棟でありました。その中で入居者の方の避難誘導の方法に疑問点がでてきました。避難方法の手順をあらためて考えていきます。	ミーティングでの話し合いを行い実践していく。	・ミーティングで話し合ったあと実践していき、反省点、改善点を話し合う。	12ヶ月
3	23	看取り加算を取る方向性となっていますが、グループホームという本来の成り立ちから看取りをどうとらえていくか、職員と話し合いながら進めていきます。	本人、家族さんの意向をきき、スタッフとも話しあい無理のない看取りにむけた支援ができる。	・職員の看取りに向けた研修 ・家族、主治医、スタッフとのその都度の話し合いを行う ・状態に応じ職員との話し合い、不安・心配なことをききながら、精神的な支援を行う。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。